

平成29年度学校評価 中間評価報告

石川県立錦城特別支援学校
校長 宮本直哉

1 評価の概要

本校は今年度、以下の5点を重点目標に掲げ、取り組みを進めています。

- (1) 児童生徒の主体性を引き出すための授業改善と専門性の向上を図る。
- (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。
- (3) 児童生徒の健康維持、体力の増進に努める。
- (4) 地域との交流を促進し、情報を発信することにより、社会への理解啓発を図る。
- (5) いじめを見逃さない学校づくりをする。

中間評価では、以下のような評価を実施しています。

(1) については、以下の2項目で実施しています。

- ① 児童生徒の主体性を引き出すための効果的な学習環境の整備や教材・教具の工夫を何点準備できたか。(教員対象)
- ② 授業参観で授業内容に満足されているか。(学校公開・授業参観参加者対象)

(2) については、次の4項目で実施しています。

- ① 錦城版キャリア教育プログラムの個別設定の項目で向上が見られたかどうか。(教員対象)
- ② 児童生徒のあいさつの仕方がよくなったかどうか。(教員対象)
- ③ 公共施設での清掃活動や販売活動をとおして就労面での能力や態度が向上したか。(教員対象)
- ④ 学校からの進路情報がわかりやすく参考になったかどうか。(保護者対象)

(3) については、体力向上、健康や身体機能の維持増進が見られたかどうか。(教員対象)

※小・中・高の各学部と肢体不自由のある児童生徒の学級、それぞれで取り組み目標を設定しています。

(4) については、次の3項目で評価します。

- ① 清掃活動や販売活動など、地域の方と接する活動の回数(回数で評価)
- ② 地域行事で「よさこい披露に参加した児童生徒・教員の合計の平均(参加人数で評価)
- ③ 各学部が行ったホームページの更新回数(回数で評価)

(5) については、次の1項目について実施しています。

- ① 小さなトラブルを見逃すことなく対応したか。(教員対象)

2 アンケート結果と分析

(1) 児童生徒の主体性を引き出すための授業改善と専門性の向上を図る。

①児童生徒の主体性を引き出すための授業改善について、学習環境の改善や教材・教具の効果的な工夫をどの程度行っているか。(教員対象)

A : 5点以上 : 36.5%

B : 3点以上 : 61.5%

C : 1～2点 : 2.0%

D : 0点 : 0%

ほとんどの職員が B 評価以上に該当し、達成度判断基準を超えており、良好な状態といえます。しかし年度途中ということもあり A 評価が低い値となっています。児童生徒の主体的な姿を引き出すための、教室環境の整備や教材の工夫は大切なことであり、A 評価になるよう継続して取り組み、授業改善に努めてまいります。

②授業参観で授業内容に満足されているか。

学校公開 授業への満足度 : 98.9%

授業参観 授業への満足度 : 95.5%

この評価項目では、学校公開や授業参観時に参加された方々にアンケートをとっています。アンケート内容は、「授業内容のわかりやすさ」「教員の児童生徒とのかかわり方」「教材などの工夫」「学習環境」の4点を項目としています。のべ75人の方から回答を得ています。評価は「A:とてもそう思う」「B:そう思う」「C:あまりそう思わない」「D:そう思わない」の4段階ですが、D 評価はなく、1項目でも C 評価の方が3.6%でした。達成度判断基準は70%以上でしたので、良好な状態であると言えます。アンケートで問うた項目はいずれも授業改善に関係するものです。今後とも、この結果に満足することなく継続して授業改善に取り組んでいきます。

また、今後の学校公開や授業参観にぜひご参加いただき、ご意見等をお聞かせいただければ幸いです。

(2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路支援の充実を図る。

①錦城版キャリア教育プログラムを教育支援計画等に活かし、児童生徒一人一人に1つ以上具体的な実践をする。(教員対象)

向上が見られた児童生徒の割合

小学部	68.8%
中学部	61.1%
高等部	77.1%
全体	70.4%

今年度は教員が児童生徒一人一人のキャリア発達を育成する取組を行い、個別のねらいに対して向上が見られたかどうかで達成度を判断しました。いずれの学部についても80%には達していません。まだ年度途中ということもあると思われませんが、児童生徒一人一人に応じた具体的な実践をより一層今後続けていくようにしていきたいと思っています。

②あいさつの仕方に向上が見られた児童生徒の割合(教員対象)

小学部	73.3%
中学部	61.1%
高等部	43.8%
全体	59.4%

今年度はチェックシートの5月と9月を比較して、個人の向上の度合いを確認して評価していくこととしました。達成度判断基準は80%ですので、まだ、達成していません。毎月のあいさつ運動では全校児童生徒の盛り上がりはあります。しかし教員側のチェックシートの活用について、児童生徒に「ここをがんばろう」という意識を持たせ、教員も意識して指導する等の改善がまだ足りないと思われます。児童生徒の能力に応じたあいさつをする力は社会に出る際に必要とされるものです。今後取り組みを進め、ぜひ、向上したとする割合を増やしたいと考えています。

③公共施設の清掃や作業製品の販売などをおして就労面での能力や態度が向上したとする生徒の割合(教員対象)

75%：高等部生徒8名中6名に向上が見られた。

評価表では、「身なりや服装」「てきぱきと動く」「お客様への心遣い」「休憩中の態度」「言葉遣い」の5つの項目で担当教員と就労サポーターで評価しました。まだまだ不十分な項目が多くみられます。どの項目も企業就労を目指すうえでは大切なことなので、今後は、同項目で生徒による自己評価も実施して顧客側の視点に立つことができるよう実践を続けていきたいと考えています。

④学校からの進路情報がわかりやすく参考になったかどうか。(保護者対象)

A：十分参考になった	33.3%
B：参考になった	52.7%
C：あまり参考にならなかった	10.5%
D：参考にならなかった	3.5%

今年度の達成度判断基準は、A+Bが70%以上ですので、達成しています。ただ、昨年度よりA評価が13.3%増えたとはいえ、CD評価は昨年度より9.4%を増えています。特に小学部で多い割合を示しています。学校からの進路情報には個人懇談等による情報、掲示物や進路だより等による情報があります。前者は主として担任が、後者は進路担当が行うことが多いと考えます。さらに進路情報ニーズを把握し、担任への情報の提供や進路支援課からの情報発信方法の検討をこれからも続けていきます。今後とも、有益な情報を発信したいと考えております。「こんな情報を」というご要望等がありましたら、ぜひ担任等にお知らせください。

(3) 児童生徒の健康維持、体力の増進に努める。

①体力の向上や健康の維持増進が見られた児童生徒の割合（教員対象）

【小学部】 児童に応じた体力向上の目標を担当が設定し取り組んだ。

伸びが見られた児童の割合：60%

【中学部】 瞬発力について2項目の測定を行った。

伸びが見られた生徒の割合：50m走25%、立ち幅跳び69%

【高等部】 体育の時間で持久力の向上に取り組んだ。

伸びが見られた生徒の割合

Aグループ（男子1,500m走、女子1,000m）：75%

Bグループ（10分間走）：64%

1回目は5月に測定。2回目の測定は10月に実施。

【肢体不自由】 健康の維持増進が見られた児童生徒の割合：66%

取り組みの達成基準は70%です。小学部は60%ですのでまだ達成されていませんが低下した児童はいませんでした。現在の取り組みを継続していきます。中学部もまだ目標は達成されていません。今後も指導を行い改善の取り組みを行っていきます。高等部は次の測定を年度末に予定していますので、今後も体力向上に向けて取り組みを進めていきます。肢体不自由の児童生徒の取り組みは、個々に応じた目標を設定し取り組みました。児童生徒にとって効果のある取り組みを医療等外部関係機関等との連携のもと、継続して取り組んでまいります。

(4) 地域との交流を促進し、情報を発信することにより、社会への理解啓発を図る。

①地域活動及び地域の方と接する活動の回数。(実施回数で評価)

9月末までの実施回数：9回(清掃活動5、販売活動4)

達成度判定基準は18回以上です。実施した活動は地域の方々と触れ合う活動です。生徒たちが頑張っている姿を見てもらうことにより、本校の活動について理解啓発が深まると考えています。また、回数だけでなく生徒たちの技能や意欲が向上するよう指導の充実も図ってまいります。後期も積極的に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。

②地域行事でよさこい披露に参加した児童生徒と教員数の合計の平均

これまでの参加者平均：32人

錦城RUN舞の活動も本校の活動を発信するツールの一つです。達成基準は30人以上で、達成していますが、児童生徒の参加者の固定が見られています。地域での活動は土日であり、送迎の課題が大きいとは思いますが、校内では、全校集会で行事参加の紹介をし、参加者を募集する取組を始めました。これからも、新たな参加者を呼びこむ工夫の必要性があると考えています。

③各学部のホームページの更新回数(9月末段階の更新回数)

- ・小学部 19回
- ・中学部 9回
- ・高等部 14回

この項目は、地域の方々に知っていただく1つの方法として、ホームページの有効活用を意図したものです。年間で各部とも30回以上をめざしています。それぞれの学部の更新回数はまだまだ目標に達していませんが、学校としてよさこいや学校行事などの更新も行っています。行事だけでなく、日常の教育活動も発信し、本校への理解啓発が進むようになればと思っています。今後とも、ホームページを閲覧する方の立場に立ったアップに努めてまいりますので、ホームページに関するご意見等もよろしくをお願いします。

(5) いじめを見逃さない学校づくりをする。

①小さなトラブルを見逃すことなく対応していた。(教員対象)

A：とてもあてはまる	32.7%
B：あてはまる	67.3%
C：あまりあてはまらない	0%
D：あてはまらない	0%

全教員がB評価以上に該当しています。今年度より職員に児童生徒の気になる行動に対して「いじめ兆候チェックシート」でアンケートをとりました。小さなことでもいじめにつながらないよう取り組んでいることがこの評価になったのではないかと思います。今後も継続して取り組んでいきます。